



OSGにできること

1人1日1kg削減

ニュース等でご承知のように、さる5月24日の国際交流会議にて温暖化ガス削減に向けた総合戦略が発表、「1人1日1kg削減」の国民運動を提唱されました。

例えば自動車の「1日5分間のアイドリングストップ」や流通の「マイバック持参で過剰包装を断る」など、様々な取り組みが行われています。

現代人の「おいしい水、身体によい水」といった飲料水への高まる欲求は止めることが出来ませんが、せめて私たちは、浄水器・アルカリイオン整水器での「ノーペットボトル」や、マイボトルでの水自動販売機の利用や、水宅配のリターナブルなど、これからの循環型社会の構築に貢献いたします。

私たちの活動は地球上から見れば小さな行為ですが、このひとつひとつの積み重ねが大切だと思えます。「酒盛り転じて、水盛りになる」※下部参照だけは避けたいものです。

地球温暖化といえばガス業界の皆さんにとっても暖冬などで大きな影響を受けておられます。

「ガスと水」では、そのような目的も含んでおります。是非、ご関心、ご協力の程、お願いいたします。

【酒盛り転じて、水盛りになる】

ある村で、一人ひとりが酒2合を持ち寄って酒宴を行うこととなった。50人の村人は一斗樽にそれぞれの持ち寄った酒を入れたのだが、ある男が「俺ぐらい水でごまかしても分からんだろう」と2合の「水」を素知らぬ顔で入れた。宴会の準備が整い、酒を酌み交わす段になった。水を入れた男も「一斗樽に2合ぐらいの水ならそう味も変わらんだろう」と、大きな盃になみなみと注いだ。しかし、それを口にした男はすぐに吐き出してしまった。「なんだ、これは水じゃないか!」慌てて周りを見渡すと、多くの村人が同じように叫んでいた。実は「俺ぐらい」と思っていたのはこの男だけではなく、多くの村人が同じようなことを考え、その結果、一斗樽は酒でなく水で充たされていたのだ。「俺ぐらい」、「私ひとりぐらい」という甘い気持ちで、折角の酒宴を台無しにし、村人の結束まで壊してしまった。文字通り「酒盛り転じて水盛り」となった訳である。

ウォーターネットにできること

 **浄水器・アルカリイオン整水器
こそノーペットボトル!!**

 **マイボトルでの
水自動販売機利用!!**

 **水宅配事業の
容器リターナブル**

ガスと水



循環型社会の構築



NASAのジェームス・ハンセン博士が米上院に溶け出す氷河の資料として提出した写真。



南国の楽園ボルネオは温暖化が原因とされる水位上昇によって、今や水没の危機にある。

